



みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO！

横浜市立本郷小学校
学校学年便り 6月号
令和8年5月29日

本郷の輝き

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>

「あいさつと交流で広がる笑顔」

副校長 柿島 謙治

5月に学校で咲き誇ったつつじも役目を終え、そのバトンを受けたアジサイが登下校で通る子どもたちを見守ってくれています。6月を迎えた今、子どもたちは、日々、その子らしさを発揮させながら学校生活を送っています。その様子についていくつか紹介したいと思います。

朝、校内を歩いていると、自分から進んで挨拶してくれる子どもたちの姿を多く見かけます。大きく元気な声での「おはようございます」や、心のこもった会釈など、気持ちのよい挨拶が校内に広がっていることを、大変うれしく感じています。

また、最初は目を合わせることに苦手だった子どもたちも、続けていくうちに少しずつ相手の目を見て挨拶できるようになってきていることに、子どもたちの成長と活動の積み重ねの大切さを感じます。挨拶は、人と人とをつなぐコミュニケーションの基礎となる大切な力です。相手を意識し、心を通わせようとする姿勢は、これからの学校生活や社会生活においても重要な意味を持ちます。継続していけるように声をかけていきたいと思っています。

また、異学年によるペア活動がスタートしました。今年度も「1年生と6年生」「2年生と4年生」「3年生と5年生」がそれぞれペア学年となり、さまざまな場面での交流を重ねながらよりよい関係性を築いてほしいと思っています。

先日は体力テストをペア学年で実施し、上学年の児童が種目の説明をしたり、記録を手伝ったりしながら、下学年の児童を優しく励ます姿が見られました。初めは緊張していた下学年の児童も、上学年の声かけによって安心し、笑顔で取り組むことができていました。また、4年生が野島宿泊体験学習から戻ってきた次の日に4年生に対して、ペア学年の2年生が「お帰りなさい」と「体力テストありがとう」のメッセージを届けました。メッセージを受け取った時の4年生の気持ちや表情はとても嬉しそうでした。

このような活動を通して、上学年の児童には思いやりや責任感、相手の立場に立って行動する力が育っていきます。一方、下学年の児童は、上学年の姿を見て憧れの気持ちをもちながら、ルールや学校生活への理解を深め、感謝の気持ちが育っていきます。互いにとって大切な学びの機会となっています。

今後もこれらの活動を通して、児童一人一人の成長を大切にしながら、思いやりあふれる学校づくりを進めてまいります。引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。